

No. 272

全日

10/56



技術発展と人間倫理

二十一世紀の科学として生物学分野が近年重視されている。人間は、かつて植物や動物を優生学的方法で品種改良を行ったが、今や生物細胞内遺伝子DNAの発見によって遺伝子工学が驚異的に発展した。遺伝子の組み換えによって生物体を変えることが出来るようになり、広範囲の分野にその応用技術の開発が研究されている。まだ試験的段階のものから、すでに化学、食品、医薬、繊維の各産業部門では具体化されている。

こうした技術の発展によって生物の生態系、生物圏の全体を乱すことがないように、この技術が社会にもたらず倫理的問題を早急に解決しなければならぬであろう。

来る第二十八回全日本仏教徒会議代表者集会の分科会でもこの問題は討議される。

お 会 式

(池上・本門寺)

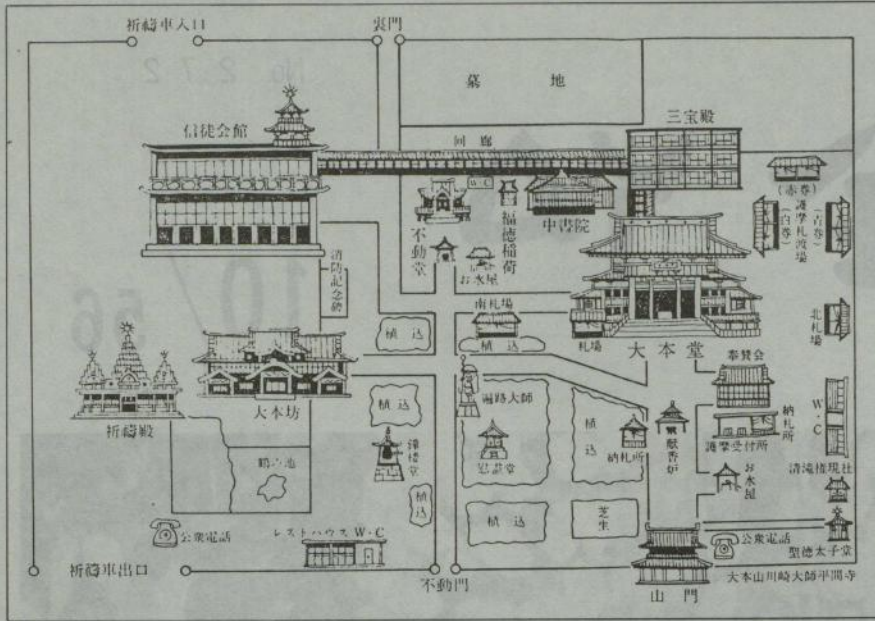
|| 解説・8面にあります ||

全日本仏教会

第28回

全日本仏教徒会議

二十七日に川崎大師平間寺で



第二十八回全日本

本仏教徒会議は、十月二十七日(火)午前九時半から、神奈川県川崎市の大本山・川崎大師平間寺で開催される。

今大会は、加盟団体代表者集会として、各部会ごとに具体的な討議が期待されるが、主催する全仏事務総局では、組織部を中心に鋭意努力中で、大会の成功を目指して準備委員会、平間寺などが連絡を密にしながら準備をすすめている。

第二十八回大会開催要項

△大会趣旨▽全日本仏教徒会議は

今年度をもって第二十八回を重ねるに至ったが、この間もつとも時宜に適した大会テーマを掲げて仏教精神の昂揚に努め、とくに全一仏教運動の展開に邁進して来た。

最近の世相をみると仏教徒としてこのままではじっとしておれぬ、という気持をいだかせるような出来事が相次いで起っている。全く関係のない人々の命を奪ってしまう通り魔殺人事件から、中学生や高校生の暴力どころか殺人などの頻発など驚くことが次々と起っている。これは日本国内のことだけでなく世界的に広まりつつあり、各国の首脳や要人が暗殺されそうになったというニュースは毎日のように報道されている有様である。

今回の仏教徒会議は、この事実をみつめて仏教の原点である、「いのちを大切に」に立ちかえって、「生命の尊厳と仏教」を大会テーマとし、あるいは全体会議で、さらには三つの部会にわかれて討議を行なって所期の目的を達成したいと念願している。

生命の尊厳といっても、なにも殺人や暴力のみを取上げるのでなく、その背後にあるもの、すなわちお互いの生命の尊重相手の人格の尊重、人間としての連帯意識などの仏教の基本となるものを取出し世界の人々に再認識し再評価させるように訴えるべきである。私達にはその責任

があると思ふ。
日時 昭和五十六年十月二十七日
会場 大本山川崎大師平間寺
テーマ 「生命の尊厳と仏教」
日程 9時30分開会式▽10時20分基調講演(磯村英一(東洋大学長))▽11時20分総会▽12時00分昼食▽1時00分部会▽3時00分総会▽4時00分閉会式

△大会役員▽総裁・泰慧玉、副総裁・山田恵諦、上野頼栄、藤井実成、名誉大会長・高橋隆天、大会長・鱈淵正浩、幹事長・神野真一、副幹事長・真溪義貫、柳了堅、意見発題審査委員長・花木義光、宣言決議文起草委員長・塩入亮達、議事運営委員長・畑直孝、第一部長・摩尼清之、第二部長・河野亮永、第三部長・柳了堅。

県仏代表者会議のご案内

都道府県仏教代表者会議は、第二十八回全仏大会の前日、川崎市で開催されます。
日時 10月26日(月)午後四時
場所 川崎市 日航ホテル
出席 各都道府県代表二名

全仏の常務理事会

来月京都知恩院で全日本仏教の常務理事会が、左記の通り開催されることになりました。
日時 十一月四日(水)午後一時
場所 京都・総本山知恩院内和順会館

関東甲 信越静 ブロック会議開く

去る九月三日(木)午後三時から、群馬県水上・松ノ井ホテルを会場に、関東甲信越静ブロック会議が開催された。

今回のブロック会議は、群馬県仏教会の担当で開かれたもので、まず群馬県仏の竹市会長が挨拶、つづいて貝山神奈川県仏会長を議長に選んで討議に移った。

①第二十八回全日本仏教徒会議について、②同和問題について、③各県仏年次計画の報告について、④都道府県仏負担金の新算定方式導入について、⑤ルンビニー復興推進について。

出席者(順不同・敬称略)
東京・細直孝、神野真一、神奈川・貝山宣泰、埼玉・江連俊則、河野亮永、千葉・土持良榮、能仁日典、群馬・竹市文成、過外一雄、栃木・高木敏了、加藤康照、静岡・原田良道、長野・山口祐哉。

ルンビニー委員会

二項目につき決議

第二回ルンビニー復興日本仏教徒委員会は、九月二日午後二時から、増上寺内明照会館会議室で開催された。

まず小野島事務次長が仮座長になり、前回の委員会で委員長に選出された、加藤海晃師、副委員長に選出された三宅心戒師からそれぞれ就任了解の御返答をいただき、加藤委員長、三宅副委員長のもの

とて議事を開始した。

この日は、多くの議題を予定していたが、時間の関係上「復興すべき具体的地域の検討」についてだけ討議された。そして次のような決議をみた。

①当会においては、ネパール国の総合開発の一環であるルンビニー開発援助でなく、釈尊生誕地の一部復興という方向で協力する。

②聖なる園の発掘調査と、工事進行の具体的な予定及び見通しにつき、問題点を整理し各関係者の意見をまとめて、当委員会へ提出する。

出席者(順不同・敬称略)
三宅心戒、稲田稔界、塩入亮達、山田一真、江連俊則、田中光成、小峰一允、加藤海晃、中島義親、中山富士、鈴木道雄、樹谷淳宣。

機構改革特別委員会

第二回機構改革特別委員会は、九月七日午後一時より、京都・大谷派宗務所会議室で開催され、日野事務総長挨拶のあと、豊田局長を座長に選出して議事に入った。

一、委員長の選出については、人選の決定をみず、そのため理事会での報告方法として、報告委員を選出した。

二、会長推薦の規定案については、事務局案を一部変更し細則案として了承さ

れた。

一、会長推薦案については、その具体的方法は推戴委員会で決めるのが良いとの意見で了承。

一、理事長の選出については「現行通りがよい」との意見決定となった。

(出席者)堀井隆俊、持田貫宣、小林隆彰、高山有進、出雲路善嗣、伊藤康雄、盛川光範、小泉宗和、橋本玄進、三宅心戒(代)

第三回同和委員会

アンケート調査など審議
第三回同和委員会は、九月九日午後一時から全仏会議室で開かれ、①アンケート調査について、②各宗調査報告について、の二議案を中心に審議した。

まずアンケートについては、第二回委員会において、全仏で小冊子を作成するために、未回答、調査中の宗派からも提出いただくことを決議したが、各宗派ともまだ調査中で、回答できないとのことだった。そこで委員会では、期限をきって途中でもその報告をいただき、今年中に冊子を作成することになった。②につ

いては各宗派から調査の結果と、その後の取り組みについて報告がなされた。

出席者(順不同・敬称略)
藤田慈善、橘了法、朽木明暁、三宮義信、吉田俊誉、鈴木道雄、久保井恭彦、北小路瑞浩、近藤玄鶴、北川智城、高橋誠実(代)、大塚峯雄(代)、茂木隆秀(代)、旭照雅(代)

「宗教法人読本」発刊

前号でご案内した、日本宗教連盟編集による「宗教法人読本」がいよいよ発刊になりました。全仏庶務部で受付けております。お早めにお申込み下さい。

なお、当初の定価予定は二千円でしたが、内容充実のため大幅な増頁となり、最終価格二千五百円で発売されました。ただし、十月末日までに全仏庶務部までお申込みの方は、二千円の一割引でご紹介いたします。十一月一日以後の申込みは、二千五百円の一割引きとなります。ご不明な点は、庶務部までお問い合わせ下さい。

集合 東京駅八重州口 銀の鈴
費用 九五〇〇円

〆切 十月十九日(先着二十五人)
鎌倉大仏、長谷観音を散策する親睦ツアー

で、説明はすべて英語で行われる。

問い合わせは、仏教英語研究会(〇三—三四二—六〇五)まで。

「外国人のための鎌倉一日ツアー」

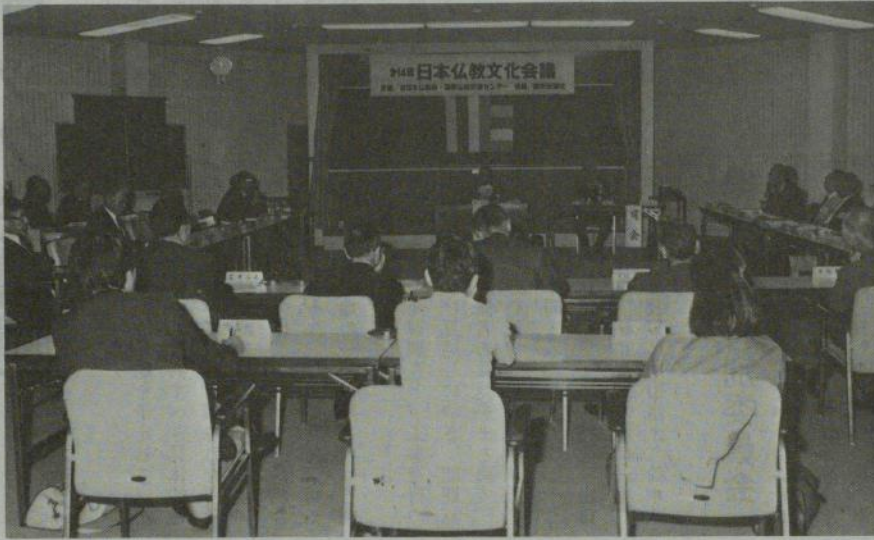
仏教英語研究会では、「外国人のための鎌倉一日ツアー」を企画し参加者を募集している。

日時 十月二十四日(土) 九時

第14回

日本仏教文化会議開く

野田、泰本両教授が基調講演



静岡・函南で開かれた仏教文化会議

仏教と科学——心とは何か——

第十四回をむかえた「日本仏教文化会議」は、全日本仏教会と国際仏教交流センター（IBEC）共催、読売新聞社後援で、去る八月二十八・九の両日、静岡県函南町・生産性研修会館を会場に開催された。今年度は「仏教と科学——心とは何か——」をテーマに、仏教学者・科学者など二十五人、宗派研究所・報道関係者十一人、全仏・IBECから十七人、オブザーバー四人が参加、野田春彦東大教授と泰本融法政大教授の基調講演の後、二日間にわたる熱心な討議を行った。

※ ※ ※

日本仏教文化会議は、これまで「アジア開発と仏教」、「生命科学と仏教」、「人類の未来と仏教」等をテーマにシンポジウムを開いてきたが、今年度は、特に分子生物学、遺伝子工学などが社会的関心を集めている中で、「心」の問題を自然科学者と仏教学者がどうとらえているか、その接点をさぐる討議が進められた。

二十八日午後一時から全仏・山田文化部長の司会で開会式が行われ、全仏・安本国際文化局長の辞につづいて、全仏・日野照護事務総長、IBEC・四宮正音理事、西義雄文化会議副議長が挨拶、その後司会を真溪義貫運営委員長にうつして会議に入った。

基調講演は、まず野田春彦東大教授が

「精神活動のメカニズム」という題で、「地球上で物質のもつ能力のごく一部を使って活動しているのが生物で、ヒトは他の生物より多くの資料を集めて、物質を活用しているにすぎない。今日の分子生物学の発展によって、核酸とタンパク質の行動の解明がなされた結果、生物学の世界の現象は、物質の連続として考えることができるようになった。」

つまり、ヒトもふくめて生物は機械にほかならない。機械というものは物質でできていて、すべての動きがプログラムされている。機械であるからには心があると考えないでも説明がつく。今後、人間と同様なコンピュータの製作も十分考えられるし、人間の持っている創造性も生物が永年積み重ねてきたことをやって、それを創造的だと言っているにすぎない。

仏教学者の方からよく、仏典の中には今の科学に通ずる含意深い考え方が示されていて、自然科学と仏教は同じことを言っているのではないか、という話を聞くと、それはおかしいと思う。似ていてもやはり違っている部分もあるわけで、違っていることをはっきり、違っていると認めることが大切だ」と自然科学からみた。「ヒトは機械」という考え方を明らかにした。

次に、泰本融法政大教授が演台に立ち「仏教における物心一如」と題して、「仏教では、科学的な分析的否定しないが、仏教的分析の立場はそれを含まない、宗教的実践論の枠内でとらえる。ま



た仏教は三界（欲界、色界、無色界）を説き、一番下に欲望の世界をおき、物質世界である色界はその上にもつてくる。唯物論は、物質に主体性を持たせる存在論と考えられるが、仏教のいう唯識は単に心に主体を置いた唯心論にとどまらない。

原始経典では、心を自性清浄心といい心は本来清浄で、煩惱といった心の悩みは外的なものともみる。部派仏教で「自性清浄心」に異論が起り、心・意・識の解明が思想的に深められ、それが大乘になると般若、唯識という観念論に体系化されていった。

唯識思想の基となった華嚴経、維摩経や法華経などは菩薩の行を中心に説き、心の方向も私個人が悟るのではなく、世間の人々とともに悟りを得ていく、大乘

講演される野田教授①と泰本教授

菩薩の実践枠内で心をいかに捉え、深め展開していくかが目的となった。

大乘菩薩の学としての物心一如観は、学である理論と実践とが常に相関しており、二元的一元論ではなく、あくまで相関的なものである」と述べた。

この両氏の基調講演をもとに討議に入り、「生物が機械であるとする、それをコントロールし、プログラムを入れる存在があるのではないか」（平川教授）

「科学はどこまでも対象的世界のもの。科学が人間を研究するといつても、それは対象化された人間である。見られる自己ではなく、見る自己そのものが問題にされなければならない」（海辺教授）

「現在の心は、現在だけでなく、遣伝子の過去からの働きが束になって出てきたもの。仏教でいう業の働きがそれに対応すると思う」（玉城教授）などの意見が次々に出された。この他、科学的好奇心

と公害、ロボットと死の恐怖、脳死と心臓死など、多方面にわたる討議が展開されたが、自然科学と仏教における心の捉え方の違いが、非常に大きいことを感じさせる内容だった。

最後に真溪運営委員長が、「精神は側頭葉にあるという意見や、心のみすかはRNA（リボ核酸）の中にあるという意見など、いろいろな説があるが、物心一如とは、生命の二重構造の一面が心であり、一面が体であると考えたい」と締めくくった。

閉会式では小野島元雄全仏事務次長などの挨拶があつて、全日程を終了した。

出席者（順不敬略）

- 東大教授・野田春彦、法政大教授・泰本融、東大名誉教授・若林勲、立正大教授・沼義昭、竜谷大教授・遊亀教授、武内紹晃、前竜谷大教授・山崎昭見、日大教授・玉城康四郎、山岡淳、沼田滋夫、早大教授・平川彰、峰島旭雄、愛知学院大教授・前田恵学、相模工大教授・佐伯真光、東洋大教授・恩田彰、駒沢大教授・臨本平也、鶴見大教授・中田直道、相愛女子大学教授・海辺忠治、大正大教授・塩入亮達、大正大名誉教授・勝又俊教、日蓮宗現代宗教研究所・中野文海、望月省一、智山教化研究所・小宮一雄、遠藤祐純、浄土宗教学局・宮川義孝、文化会議副議長・西義雄、運営委員長・真溪義貫、運営委員・藤吉慈海、雲井昭善、摩尼清之、中根専正、四宮正音、安本利正

上信堂上川金太郎商店

- 墓地用線香製造販売
- 各種墓地用品販売
- 各種薫香販売

本店 東京都豊島区巢鴨4-8-7
TEL (03) 917-1734
東北出張所 山形市山寺(堀川商店内)
TEL (0236) 95-2742

W F B 執行委員会

磯山庶務部長の報告

第二十四回WFB執行委員会は、八月二十二日、二十三日の両日、第十四回WFB大会の会場であるインドネシアのジャカルタ、ジョクジャカルタの両市のホテルを会場にして開催された。日本からは執行委員の鎌田良昭国際部長の代理で、磯山福正庶務部長が出席した。以下は、その報告である。

十三の議題について審議



開かれたWFB執行委員会

委員会は、サンヤ会長代行議長のもと、

クレーオン・フン(副会長)、アルバート・エディリ・シンク(副会長)、ブラサート事務総長、ブラソン財政主任、執行委員ミヤバラ・スナオ(米)、テーテンケユー(マレーシア)、マタンリー・ウイリアム(スリランカ)、磯山福正(日本)、マリカ・チャラク事務次長、小谷亀太郎事務次長出席のもと開会された。

議題に先立って、サンヤ議長より、執行委員会の会場の引受国のアギ氏に対して感謝の辞が述べられた。次いで、事務報告がなされ、日本に関しては、全日本仏教会をはじめ、各宗関係者より寄せられたカンボジア難民救援資金に対して、感謝の言葉があった。また、故中山理々師の逝去をいたみ、参加者全員で黙とうをささげた。

- 一、前回執行委員会の議事録承認の件

異議なく了承された。

二、第十三回タイ大会記念コインの件
千枚を、WFB支部の希望者に有償で譲ることとなった。希望者はWFB本部まで申し出ることとなった。

三、WFB加盟申請用件について
○英国・サイエンティフィック・ブツ
デイス・アソシエーション
事務総局で更に実情を調査することとなった。

○バングラデイス・アグラサーラ・メモリアル・ソサヤテイ、
申請を受理しないこととなった。
○フランス・アソシエーション・カル
チュエレ・ブティック・ティンタム
申請を受理しないこととなった。

○スリランカ・オール・セイロン・ブ
デイス・コングレス
申請を受理しないこととなった。
○インドネシア・マジリス・ブツ
ヤーナ・インドネシア
総長エリの事情聴取に対する応答が
ないため保留となった。

○バングラデイス・バングラデイス
・ブツデイス・ミッシヨナリー
・ソサヤテイ
申請を受理しないこととなった。

- 四、大会参加代表団の参加費について
次回会場のインドネシアのアギ氏よ

り意見を聴いた結果、財政上不安はないということなので、参加費は取らないこととなった。

五、入会金について
既に先のWFB総会において入会金は、一〇〇米ドルに値上げが決められたが、これを、先の大会終了の時点より適用することが決められた。

六、允可状(加盟証書)について
加盟が認められた支部に対しては、会長、総長名の允可状が与えられることになっているが、最近その形式の定まったものがないため、執行委員のテー・テン・チュウ氏の支部が加盟した時のものを参考に形式を整えることとなった。

七、中国本土の仏教会の加盟について
未だ正式な加盟の申請がないので、執行委員会としては、正式な議題としないこととなったが、更に、種々の情報の収集につとめることとなった。

八、WFBの財政報告について
一九八一年六月末日までのWFBの財務状況について報告があった。特に長期間にわたり、多くの支部の年会費の未納があり、その支部も、過去において、大会に参加していることが問題とされた。しかしながら、除名ということとは考えず、更に、年会費の催促をすることとなった。但し、インドネシアのベリムアナン・ブツデイス・インドネシア支部は名簿より削除することとなった。

九、ルンビニーの寄付金について

WFBのルンビニー復興計画への協力は、ルンビニー園の中に橋を建設することと決定しているが、従前、各支部よりの寄付金は、一括してWFBの名義で預金されている。ところが、この中には、タイの国民よりの寄付金も一緒に預金されてしまっている。本来タイ国民の寄付金は、ルンビニー開発タイ国委員会に所属する性質の寄付金であるので、このたび、これをWFBの預金の中から外すこととなった。一九八一年六月末日現在、WFBの橋の建設のために寄付された寄付金は、約二

同和推進のために

発言事件が契機となって、内部の差別性が歴然として露呈されてきた差別戒名の問題。

この惨憺たる事実を以ってしてなお仏教たりうるのか。そもその歴史上の事実において仏教といってきたことの非仏教性、非道義性、非人間性。仏教の社会的現実には正に地獄相ではないか。宗教教団は連帯において同和問題に取組むことを宣言し、盟約した。一派の非逐行の是正は連帯の名で補充せられねばならぬ。
自他共に連帯のあかしにおいて、自他の生きるみちをひらく以外にはない。

〇〇万バーツ(約二千万円)にのぼる。

十、ユネスコ平和教育賞推薦について
WFB本部では、出版、広報、教育、文化、芸術委員会の委員長である、ヘイワゲ氏を、上記の賞の候補者としてユネスコに推薦したとの報告をうけた。

十一、松坂節三氏のWFB本部への仏像の寄付について
本部の所在地が将来変わる可能性もあるが、仏像の場所も移動可能であれば、喜んで寄付を受け入れたいという意向であった。早速、写真とサイズを確認することとなった。また一九八二年四月、タイの二百年祭に合せて、寄付し

⑥ 同和委員会委員長

解放令の出たあと、明治十四年、東本願寺末徳行寺は寺格昇階願いを出し、四百五十円(うち二百円を正金、残金二百五十円を十ヶ年賦)を納め、本山はこれを受取りながら、出来たばかりの寺だから、初代と二代目住職のうちは昇階をゆるさない、また「新平民であるから内陣昇階は認められない」というのに対し、部落では歎願書を出し、「新平民の浄土と本尊は別格の低いものなのか」とはげしい抗議を行った。ここでもまた本山は十ヶ年賦の二百五十円をすぐ正金で出すなら考えてもよいという。

ていただければ、本部としても、一層意義深いものになるとの見解であった。

十二、故中山理々師の本葬について
WFB創設当初より貢献の深い師の本葬に際して、生花一基を供することとなった。

十三、第十四回世界大会について
日時 一九八三年九月下旬～十月初旬
の一週間
場所 インドネシア ジャカルタ市並
びにジョクジャカルタ市
以上

橘 了法

ついに寺と部落では、西京裁判所に、法主を詐欺の疑いで告訴。この前代未聞の事態の前に、本山は告訴の取り下げをたのみ、寺格の昇格がきまったという。
幕末から明治二十年ごろまでの記録(徳行寺文書)には、部落大衆の本山への懇志一筋の経緯、本山から徳行寺へ二百両の調達依頼に対し四百五十両の上納等々の記事のあるうえに、なお右の一件である。
仏教とは、本山とは、そも何たる存在なのであろう。

宗教界には最もゆかりの深い菩提樹と蓮の花を育ててみませんか!!

成道ゆかりの樹……菩提樹(印度ブッタガヤ産直輸入品) 苗代¥10,000(鉢付)

極楽浄土の華……蓮(チャワンバス通称姫蓮) 苗代¥7,000(鉢付)

上記の品二点を同時予約注文の場合 特別価格¥15,000

お申込、お問合せは下記のいずれかの所へ御一報下さい!

東京池袋 西武不動産(株)園芸営業所 ☎(03)989-2755
〒171 東京都豊島区南池袋1の16の15(西武鉄道ビル内)

名古屋 賃梅金商店 ☎(052)241-0901(代)

(有)かたばみ商事
〒460 名古屋市中区大通三丁目39番33号





法律無料相談室を開設

— 毎月第二・第四火曜日 —

この度、全日本仏教会では、各寺院が抱える法的諸問題について、気軽に相談できるよう「全仏無料法律相談室」を開設することとなりました。

また、御寺院だけでなく、檀信徒の方の御相談もお受け致します。
「法律無料相談室」

◎担当 全仏顧問弁護士 長谷川 正浩氏

◎日時 毎月第二・第四火曜日 午後一時より午後四時

◎場所 105港区芝公園四一七—四 (明照会館内)

全日本仏教会

— 表紙の写真 —

日蓮聖人報恩お会式

(池上・本門寺)

日蓮聖人の命日、連夜の法要を「お会式」とよぶ。古くは御影講、御命講ともよばれ、桜の花で飾った万灯をかかげて、まといをふり、うちわ太鼓でお題目を唱えながら、聖人ゆかりの寺へ参拝するのが、ならわしとなってきました。中でも入滅の霊地池上本門寺への参詣は大変盛んで、江戸の名物の一つ

に数えられ、狂歌などにも数多くうたわれるほどのにぎわいだった。

現在でも十月の十二日には一夜で数十万の善男善女が参詣につめかける。

特に今年は、日蓮聖人の第七百遠忌を迎え、宗門あげて一大記念行事が計画されており、全国から例年以上の人数が予想される。

「お会式」は聖人に報恩感謝のまこととをささげると同時に、聖人が一代をかけた誓願を守り続けると、ちかう日である。

◎相談方法 面談・書面・電話 (四三七) 九二七五
(但し、面談の場合は、前もって御連絡下さい)

◎相談内容

- (1) 寺院の設立、合併、規則変更、不動産取引等に関する諸問題
 - (2) 寺院の収益事業や幼稚園経営における税務等に関する諸問題
 - (3) 遺産、遺言等、相続問題
 - (4) 婚約破棄、離婚、財産分与、養子縁組み、夫婦親子の問題
 - (5) 保険、示談等、交通事故にかかわる問題
 - (6) 借地借家、承諾料、契約更新の問題
 - (7) 手形小切手、債権回収等商取引上の諸問題
 - (8) 手附、契約解除、不動産売買にからむ問題
- その他の問題についても、疑問の点があれば御相談下さい。

事務総局録事(九月)

- 二日 ルンビニー委員会
 - 三日 関東甲信越静ブロック会議
 - 七日 機構改革特別委員会
 - 九日 同和委員会
 - 念法真教灯主誕生祝賀会出席
 - 日宗連理事會
 - 十八日 税務委員会
 - 局内会議
 - 二十九日 ルンビニー委員会
- 本願寺派戦没者追悼法要参列

昭和五十六年 十月一日発行
十月号 第二七二号

発行人 日野照護
編集人 安本利正

発行所 財団法人 全日本仏教会

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)
電話 代表 (841) 4965

東京都港区芝公園四一七—四
電話〇三(四三七) 九二七五

昭和57年版 全仏手帳

申込み受付中

全仏総務局では、左記要領にて「全仏手帳」を発行します。部数に限りがございますので、御注文は早めに。

内容 三掃依文、四弘誓願、宗門聖日、加盟団体役員住所録、忌日早見表、その他

サイズ 9×14 cm
定価 五五〇円(送料実費)

申込先 東京都港区芝公園四一七—四 全仏総務局
「全仏手帳係」宛